

壺 阪 寺

平成29年(2017)
9月～12月行事予定

9月18日	彼岸回向会
10月1日～12月3日 10月7日	秋の特別拝観 秘仏阿弥陀如来像 御開帳 国文祭・障文祭なら2017 人形浄瑠璃「壺坂霊験記」於 壺阪寺大講堂(要予約)
10月18日	眼病封じ祈願会 めがね供養会
11月18日	観音ご縁日
12月18日 12月31日	観音ご縁日 納め観音 除夜の鐘

第32回 国民文化祭・なら2017
第17回 全国障害者芸術・文化祭なら大会

人形浄瑠璃

壺坂観音霊験記

文楽

※当日の衣装費は
写真と変更になる場合があります。

観覧は無料ですが、往復ハガキにご住所・お名前・お電話番号をご記入ください下記事務局まで事前申し込みをお願いします。
応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
(定員200名。観覧の可否については、応募締め切り後、返信ハガキにてお知らせいたします。)

応募先
〒634-0006
奈良県橿原市新賀町202-4
(株)リード 壺坂観音霊験記
観覧希望 係 宛て

応募締切
平成29年8月31日(消印有効)

とき
平成29年10月7日(土)
13:30開演(13:00開場)

ところ
壺阪寺 大講堂
西国霊場第六番
(奈良県高市郡高取町大字壺阪3番地)

※駐車場に限りがございますので公共交通機関のご利用をお願いします。

主 催
文化庁・厚生労働省・奈良県・奈良県教育委員会・第32回 国民文化祭奈良県実行委員会
第17回 全国障害者芸術・文化祭実行委員会・高取町・高取町教育委員会
第32回 国民文化祭・第17回 全国障害者芸術・文化祭高取町実行委員会

問い合わせ先
第32回 国民文化祭・第17回 全国障害者芸術・文化祭高取町実行委員会事務局
☎0744-52-3715(高取町教育委員会事務局内)

編集後記

雨の降らない梅雨が終わり、口を開けば『暑い暑い!』という言葉が出てしまいます。

また、局地的な豪雨が降り、大きな被害が出ている事に胸が締め付けられる思いであります。その報道の中でも、地域の方やボランティアの方が協力されている姿を拝見させて頂き、今号の施設からのお知らせはボランティアについての特集をさせて頂きました。

広報委員一同より

つぼさか壺心会 105号



夏の花の代表アジサイ。壺阪の境内でも、大きく茎を伸ばし、色鮮やかな花を咲かしました。二十年以上前に、境内にアジサイを植えましたが、その冬の間に、殆ど枯れてしまった苦い経験がありました。その苦い経験で植栽にも工夫したからでしょうか、最近では、無事に冬も越し、立派な花を咲かせて私たちを楽しませてくれます。ただ、アジサイの品種の中でも、耐暑性を持ったアジサイの成長が早いようにも思います。

夏を迎える度に、猛暑、酷暑という言葉聞きますので、アジサイなど夏に花の季節を迎える植物には、どうしても耐暑性(暑さに強い)が求められます。耐暑性の強い品種がよく育つからと言って、温暖化が進んでいるとは簡単には言えませんが、夏を越すための性質が強くなるようになりました。二十年以上前は、冬のことがばかり気にして、植物を選んでいましたが、これからは夏のこともよく考えないといけなくなりました。

このような事柄を観察すると、気候が変わりつつあると思います。気候が変わっても、アジサイや夏の花は、懸命に花を咲かせ、新葉を開かせます。それを見ている私たちは、熱中症の恐れがあると言って、エアコンをかけて、部屋に待機してくださーいと呼びかけを守って、この夏を過ごそうとしています。何かしないと思ひながら、毎日流れる気象予報の気温の数字ばかり気にして、怠け心もでてしまいます。

そんな時、アジサイの花越しに、壺阪大仏(大釈迦如来石像)の頭の渦巻きを拝見させて頂きました。暑い中でも、一所懸命に考えなさいよとされているように思いました。美しい花と硬い石仏の頭、硬軟織り交ぜて、しなやかに安定しない気候の中でも、自分を見失わないように生活していきたいと思ひます。

合掌 壺阪寺住職 常盤 勝範

発行・編集／お問合せ 南法華寺福祉事業後援会 つぼさか壺心会
〒635-0102 奈良県高市郡高取町壺阪3 電話:0744-52-2016 FAX:0744-52-3835

ホームページ

壺阪寺 <http://www.tsubosaka1300.or.jp/>
壺阪寺聚徳会 <http://www.shutokukai.or.jp/>
(一財)アジア・アフリカ国際奉仕財団 <http://www.aivjapan.org/>

A I V だより (一財)アジア・アフリカ国際奉仕財団 Asia Africa International Voluntary Foundation

ロパ・ムドラ学校で日本語教室始めました。

インド・アグラで運営されているロパ・ムドラ学校。この学校に対し、壺阪寺、アジア・アフリカ国際奉仕財団は校舎増改築を始め、諸設備の改良、奨学事業の創設、教職員の待遇改善などソフト、ハード両面において支援を行ってまいりました。

今年2月には、開校40周年の記念行事も無事に行うことができました。

インドの社会は、経済状況の改善に伴い、大きく変化しようとしています。その流れは、この学校の周辺にも及んでおります。伝統的な職業だけでなく経済発展に伴う新しい職業が、多くの人材を必要としています。女子に対する教育の考え方も大きく改善され、ロパ学校を卒業した女子全員が進学しました。こういう状況の中で、これからどのような支援、交流が必要かと討議されてきました。最近の日印の経済交流の発展は目覚ましく日本企業からの通訳需要は大きいと言われていることから、基礎的な日本語を学校で教え、生徒のチャレンジ精神、将来の職業を考える機会を与えてみてはどうだろうかという考えで、日本語教室が開催されました。生徒だけでなく地域の人達にも開放して、教室が7月から始まりました。詳細は次号に。



授業風景



生徒のノート



積極的に授業に参加する生徒のみなさん

聚徳会だより

養護盲老人ホーム 慈母園

一文字一文字心を込めて…代筆ボランティア「いちてん会」

慈母園は、地元地域はじめ、各種ご団体、ボランティアなど、多くの方に支えていただいています。その中で、今回は、代筆ボランティア「いちてん会」様をご紹介します。

「いちてん会」様は、15名の会員からなり、居室電話や携帯電話が普及する前から、48年の長きにわたり、四季に合わせての手紙や、暑中見舞い、年賀状の代筆に来てくださっています。代筆だけでなく、ご利用者のお話に耳を傾けながら、また離れて暮らす家族や友人へのお気持ちに寄り添いながら、一文字一文字に心を込めて、代筆してくださっています。

現在は、代筆だけでなく、お話し相手ともなったださっていて、お茶を飲みながらの会話は、ご利用者の楽しみのひとつになっています。

「いちてん会」の皆さんからも、お話をすることで、高齢視覚障害者への理解がより深まったとの声をいただいています。

視覚障害者の方にとって、代読・代筆は、コミュニケーション・情報提供への大切な支援のひとつです。ご利用者の社会参加、豊かな生活のために、長きにわたりお力を貸して下さっていることに心より感謝申し上げます。

このたび、長きにわたる「いちてん会」様の功績が認められ、日本盲人社会福祉施設協議会(日盲社協)より、ボランティア表彰を受賞されました。日頃の感謝の気持ちを込めて、心よりお祝い申し上げます。

主任生活相談員 係長 森 史子



代筆の後、お茶を飲みながらお話に花が咲きます。



お話に耳を傾けながら、丁寧に代筆してくださっています。

聚徳会だより

特別養護老人ホーム 光明園

光明園におけるボランティア様ご紹介

光明園においてボランティアの方々との関わりは、大切にしてきた事のひとつです。特に光明園は歴史があり、創立36年を迎えていますので、その関わりは広く、深さもあります。一概にボランティアと言っても、年に1回から月に1回、また一度限りのご縁のものまで様々な関わり方があります。男女比で言いますと、以前は男性の方も多く関わって下さっていたようですが、現在ではほぼ女性の方ばかりの構成になっております。

内容としては、清掃活動・クラブ活動・芸事の披露等が多く、必ず入居者の生活に何かしらの関わりがあることが多く、光明園としましては、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回は、その中でも長い間、関わって頂いておりますボランティア様のご紹介をさせていただきます。

副施設長 鳥越 信孝



増田先生(左から2人目)



お茶クラブレクリエーション

光明園開設の昭和56年5月よりのご縁で、代表の増田様はお茶とお花の先生でいらっしゃいます。職員もご指導を受けていたとのこと。ご縁の始まりは、娘様が光明園で働いておられたこと、義父がお世話になったことで、私も何か恩返しをしたいというのがきっかけであると教えて頂きました。



ビハーラ活動の様子

平成2年10月よりのご縁で、ビハーラ活動の一環としてシーツ交換やお話し相手をして下さっております。「ビハーラ活動」とは、仏教徒が、仏教・医療・福祉のチームワークによって、支援を求めている人々を孤独のなかに置き去りにしないように、その不安に共感し、少しでもその苦悩を和らげようとする活動だと教えて頂きました。



ビハーラ活動の様子

障害者支援施設 明日香園

「明日香園のボランティア紹介:やさしい笑顔づくり」

今号では明日香園でお世話になっているボランティアの紹介をさせていただきます。今年度よりご利用者の余暇活動として新たに「生花クラブ」を行なっております。

「生花クラブ」では橿原市市民公益活動「さくら会」の田中嵯代子様を代表とされるボランティアの皆様にお世話になっており、毎月いろいろな種類の花を持って来園して下さります。まだクラブが始まって数回ですが早くもボランティアの皆様が来られる日を楽しみにされています。

クラブの時間は利用者様おひとりづつリビングの中央でボランティアの方と話をしながら生けていかれ、「この花はなんていう名前ですか?」「この花もカーネーションの仲間ですよ」「きれいな花ですね」など花を真ん中に笑顔の触れ合いができています。

花を見る顔がやさしく、感想を話すことが苦手なご利用者も表情で見てとれます。

回数を重ねることで多くの利用者のやさしい笑顔を見られることを期待します。楽しい時間の最後は一人ひとり握手してお別れとなりました。これからも「さくら会」の皆様よろしくお願いいたします。

支援員主任 江本 好隆



【健康生活ネットワークさくら会】

活動内容 『身近にある花を生けることから、自らが美を楽しむ生活習慣を身につけ、花ある暮らしから心豊かで生きがいのある人生を生きる「人づくり」「美しい町づくり」を目的とする。』 橿原市ホームページより

聚 徳 会 だ よ り

特別養護老人ホーム・ケアハウス 第二慈母園

『喫茶ほほえみ』香り高い挽きたてコーヒー

平成14年よりボランティアさんの協力により、当時から今も変わらず1杯50円のコーヒー。地域交流スペースには、喫茶カウンターが設置され本格的な喫茶店が味わえる場所です。入居者の方々の憩いの場であり、ご家族様との団欒の場としても使われています。また、人に話せない悩み事や相談ごとなどボランティアの方にお話をされているそうです。その為、町の喫茶店のマスターのように、その方の好みを良くご存知で、一番美味しく味わえるように工夫し提供して頂いています。コーヒーを美味しく入れる方法は『秘密』のようです。皆様、第二慈母園へお越しの際は、美味しいコーヒーはいかがでしょうか？

開園直後よりボランティアに来て頂き、現在は『喫茶ほほえみ』担当の永田様にお話を聞かせて頂きました。



☆ボランティア活動を始められて何年ですか？

第二慈母園が開園してからなので、もう18年目になります。

☆ボランティア活動を始められたきっかけは何ですか？

会社を定年退職後、ヘルパーの資格を取りました。ヘルパーの資格を取ったがヘルパー等の仕事をする自信はなく、その時『平成12年に第二慈母園が開園する』という事を聞き、何かお役に立てないかな？と思いボランティアに参加させて頂いたわけです。最初は、デイサービスの送迎のお手伝いをさせてもらい、その後 洗濯場で洗濯物をたたんだり手伝っていたんです。(妻のパンツも洗った事がないのに、ここで初めて洗わせてもらいました笑笑)それから現在に至っています。

☆ボランティア活動を続けていく上でやりがいは何ですか？

人のために行っているのではなく、自分のために行っています。自分が進んで出来る仕事ですね。ボランティア活動をする為には、先ず自分自身が健康でないと。

☆ボランティア活動を続ける上で困難な事はありませんか？

困難な事はありませんが、開店した時は多数の方が喫茶に来られ、座る椅子もないぐらいでしたが、年々喫茶に来てくれる人が少なくなりました。これからの時期、アイスコーヒーもあるので、皆さん是非来て下さいね。

『喫茶ほほえみ』をはじめ第二慈母園では8つのボランティアの方々にご協力を得ています。皆さんのおかげで、一人ひとりが元気を頂き笑顔になり、感謝の気持ちです。

訪問介護事業所 主任 数ノ内 祐佳

養護盲老人ホーム 五色園

「利用者の皆さんの笑顔のために」

養護盲老人ホーム五色園には、各種クラブ活動の指導をして頂けるボランティアや、朗読などのボランティア、清掃ボランティアや外出支援ボランティアなど多くのボランティアの皆さんに支えられています。

今回、ご紹介させて頂くボランティアは、五色園の職員OBのボランティアグループ「かけはし」です。養護盲老人ホームの利用者は、眼がご不自由な為、専門的な視覚障害者の手引きが必要です。それにプラスして、よく知っている人であればなお安心感があり、会話がはずみます。

このボランティアグループの「かけはし」の皆さんは、元職員ということで、利用者と共に過ごした時間も長く、利用者も安心してご利用されています。

「かけはし」の皆さんは、利用者の外出時のボランティア、夕涼み会などのボランティア、ハイキング付き添いボランティア、お花見、クリスマス会などの行事のボランティアとして、施設を支えています。

今回は、「慶野松原でのハイキング」の場面をご紹介します。毎月一回第二土曜日に五色園の近くの国立公園の慶野松原公園に出かけます。慶野松原公園は「日本の海水浴場百選 特選」、「日本の渚百選」、「日本の海水浴場88選」に選ばれている海水浴場であり自然を満喫しながら、散歩と会話を楽しまれて、笑顔がたえない一日となります。このように地域の多くのボランティアの皆さんが、五色園を支えて下さることで、より良い施設に成長させて頂いています。利用者並びに職員一同、感謝しています。

施設長 新田 良

